

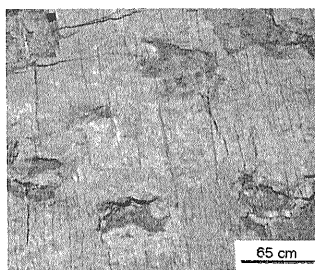
ボリビアで見た恐竜の足跡

石原 舜三¹⁾・安達 正敏²⁾

ボリビアのかつての首都であるスークレ郊外のセメント会社の石灰石鉱山(Cal Orko)で、昨年2月にジュラ紀後期-白亜紀恐竜の足跡が発見され、以来訪れる人が後を絶たないと言う。そのため、この鉱山のガードマンは今やラテン語の学術名がすらすらと出る名ガイドとなっている。私達も移動の途中で立ち寄り、その説明を聞いた。各写真に付した説明は全てこのガイドによるものである。なお、学術報告はスイス隊によっていづれなされる筈である。



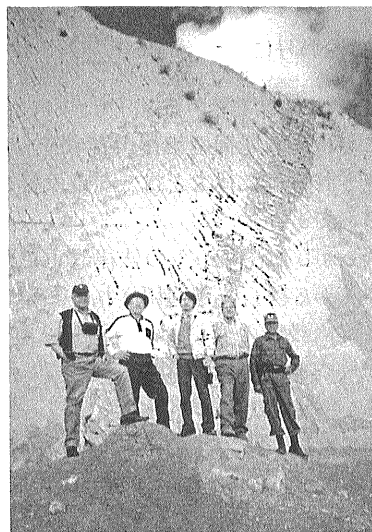
1. 発見露頭25,000m²に14種類の足跡が発見されたと言われる。



2. 草食恐竜アバトサウルスの足跡。これは大型恐竜で全長21mに達する。右側が前方。



3. アンキロサウルス(草食恐竜)の足跡を右から左に横切った小型肉食恐竜の足跡。



4. 露頭前での記念写真。左側が足跡。上方から下方へと歩いた。草食恐竜アンキロサウルス2頭(夫妻?)が最初は前後に、途中から2列に並んで歩いた足跡。右後方の傷は断層。右端がガイド氏。

1) 地質調査所 顧問
2) 三井金属鉱業(株)ボリビア支所長

キーワード: ボリビア, スークレ, 石灰岩, アバトサウルス, アンキロサウルス